

「題材名 絵文字で分かりやすく、魅力的に表そう」

1 題材設定の理由

①生徒観

本学級の生徒は、授業中の積極的な発言が多く、前向きに制作や鑑賞に取り組むことができる生徒が多い。1学期の「色の学習」では、新聞紙やチラシから様々な色を見つけ出し、2平方センチメートル程度のサイズに切り抜いたものを仲間分けする活動を班ごとに行った。色の三大要素や12色相環、補色の関係などの既習の色彩の知識を活用しながら話し合いをすすめることで、基礎的な知識の定着が図られた。新たな発見や疑問を学級全体で共有することで、さらに学びを深めていくこともできた。また、生徒は「色の学習」や夏休みのポスター制作などで、アクリル絵の具を使用しており、水の量に気を付けながら混色し、むらなく美しく着彩する練習をしてきた。さらに、生徒は小学校から一人一台端末を活用した表現活動に取り組んでおり、中学校でもICTについてはさらに一人一台端末を効果的に活用し、制作の場面で色彩に関する知識や配色の効果などを表現に生かしていけるようになってほしい。

②題材観

本題材は、自分の好きなひらがなやカタカナ、漢字の一文字を、その意味やイメージに合うように明朝体やゴシック体などの書体で表す。さらに文字の一部または全体を絵に置き換えて表現することで、より分かりやすく、魅力的な文字のデザインを考えるものである。まずは、身近にある商品のロゴマークや広告に使用されている文字のデザインを鑑賞し、伝えることや造形的な美しさや工夫について考えさせ、関心をもって制作につなげられるようにする。作品の構想段階や制作で一人一台端末を用い、形や配色を何度でも試せるようにすることでより自分のイメージに合った作品の完成をめざす。また、従来のアクリル絵の具を用いた制作に比べて制作にかかる時間の短縮を図る。文字の表す意味や自分なりの思いからイメージをふくらませて表現の構想を練り、一人一台端末の特性を生かして創造的に表現できるようになることがねらいである。

③指導観

指導にあたっては、まずは絵文字の作品例を鑑賞させ、気付いたことや工夫されている点について共有する。班活動を取り入れることで、積極的に意見交換ができる場を設定する。主に4つの絵文字の制作方法（①全てを絵に置き換える、②一部分を絵に置き換える、③形を変形させる、④書体や柄で表す）があることをおさえ、制作への見通しと関心をもたせたい。さらに本制作の前に練習として、連想ゲームを行い、楽しみながらまずは言葉でその文字の意味やイメージをあげさせ、絵に置き換えていくことで具体的なイメージがわきやすいようにする。その際、生徒によって連想するものが違ったり、同じだったりすることから、個々の感性の多様性を実感させながらも、より多くの人に伝わりやすいデザインにするためにはどのようにすればよいかについて考えさせたい。本制作時には、自分自身がイメージをふくらませやすい身近な漢字や名前などの親しみのもちやすい文字を選ぶことで、より人に分かりやすく文字の意味やイメージを伝えることができ、造形的に魅力的なデザインを考えられるようにする。一人一台端末を用いての制作の場面では、既習の色彩や配色、レタリングに関する知識を生かし、より分かりやすく、美しい作品になるよう指導する。

2 題材の目標

伝達の表現に関心を持ち、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を練り、より伝わりやすいように工夫して創造的に表現する。

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・色彩の効果を生かす、全体のバランスのとれた構成を考えるなど、全体のイメージで捉えることを理解する。〔共通事項〕
- ・一人一台端末の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。（「A 表現」(2)）

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・色彩や配色の効果を生かし、誰にでも分かりやすく、美しい絵文字の構想を練る。（「A 表現」(1)）
- ・分かりやすさと美しさの調和のとれたデザインについて、他者の意見を聞きながら、自分なりの見方や感じ方を広げる。（「B 鑑賞」(1)）

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・創造活動の喜びを味わい、文字の意味やイメージを分かりやすく伝えられるよう表現したり鑑賞したりする学習活動に主体的に取り組もうとする。

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>知色彩の効果を生かした配色や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</p> <p>技文字と絵のバランスのとれた構成を考え、一人一台端末の特性を理解し、制作の手順などを考え見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発色彩や配色の効果を生かし、誰にでも分かりやすく、美しい絵文字となるように構想を練っている。</p> <p>鑑分かりやすさと美しさの調和のとれたデザインについて、他者の意見を聞きながら、自分なりに見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態表創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生み出し、文字の意味やイメージを分かりやすく伝えられるよう表現しようとしている。</p> <p>態鑑主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫などを考え、見方や感じ方を広げようとしている。</p>

4 授業の展開（全9時間）

時間	学習のねらい	生徒の活動	留意点等【評価方法】
1	・分かりやすく伝えることや造形的な美しさについて考える。	・デザインされた文字にはどのような造形的なよさや工夫があるのかを理解する。	<p>○知色彩や配色、レタリングの知識を活用しながら、造形的なよさや工夫点を考えることができているかどうか見取り、着眼点を具体的に示しながら指導を行う。</p> <p>【活動の様子、ワークシート】</p> <p>◎態鑑デザインされた文字を鑑賞し、班や全体で意見を交換しながら見方や感じ方を深められたかどうかを評価する。</p> <p>【活動の様子、ワークシート】</p>
2・3	・絵文字の構想を練る。	・文字から連想した言葉を絵に置き換え、絵文字の構想を練る。	<p>◎鑑例題の文字から連想した言葉を絵に置き換えてできた絵文字を鑑賞し合い、造形的なよさを感じ取り、より伝わりや</p>

			<p>すい絵文字について考えることができたか評価する。</p> <p>【活動の様子、ワークシート】</p> <p>◎発ひらがな、カタカナ、漢字の中から自分の発想が広がりやすいものを選択させ、できるだけ多くのアイデアが出るように促し、文字の意味やイメージがより伝わるデザインを追求できているか評価する。</p> <p>【アイデアスケッチ】</p>
4～8	<p>・一人一台端末の特性や色彩の知識を生かし、分かりやすく美しい絵文字の本制作に意欲的に取り組む。</p>	<p>・一人一台端末で、絵文字の制作をする。</p>	<p>◎知 技色彩の効果を生かした作品になるよう何パターンか配色を試させたり、全体や背景とのバランスを考えさせたりして、より造形的にバランスのとれた美しい作品に仕上がるよう指導する。</p> <p>【活動の様子、作品】</p> <p>◎態表創造活動の喜びを味わいながら、文字の意味やイメージを分かりやすく伝えられるよう表現しようとしているか評価する。</p> <p>【活動の様子、作品】</p>
9	<p>・伝達と造形的な美しさについて考え、見方や感じ方を広げる。</p>	<p>・自他の作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを話し合う。</p>	<p>◎態鑑自他の作品のよさについて考えようとしているかどうかを評価する。</p> <p>【活動の様子、ワークシート】</p>

○題材の評価規準に照らして、適宜、生徒の学習状況を把握し指導に生かす。

◎題材の評価規準に照らして、全員の学習状況を把握し記録に残す。

5 本時の指導(2 / 9時間)

(1) 目標

文字の意味やイメージが伝わりやすく、美しい絵文字のデザインを考える。

(2) 展開

時間	学習活動	評価方法・留意点等
5分	1 前時を振り返り、本時の活動のめあてを確認する。	・前時のワークシートを振り返らせながら、絵文字の制作方法(①全てを絵に置き換える、②一部分を絵に置き換える、③形を変形させる、④書体や柄で表す)や絵文字として適切でない例を確認させる。
<p>学習課題 伝わりやすく、美しい絵文字のデザインを考えよう。</p>		
10分	2 例題「な」と「夏」の文字からそれぞれ連想した言葉を書き出し、絵に置き換えて絵文字をつくる。	・それぞれ5つ以上の言葉を考えさせ、その中で絵文字にできそうなデザインを1つ以上描くように指示する。その際、発想しやすい制作方法の①か②で考えさせるようにすすめる。
10分	3 できた絵文字を班で鑑賞し合い、それぞれのよさや工夫点について話し合う。	・造形的なよさを感じ取り、より伝わりやすい絵文字について考えることができる。【活動の様子、ワークシート】
20分	4 自分の好きな文字で、絵文字のアイデアを考える。	・ひらがな、カタカナ、漢字の中から自分の発想が広がりやすいものを選択させ、できるだけ多くのアイデアが出るように促す。【活動の様子、ワークシート】 ・必要に応じて、一人一台端末で関連する言葉を検索し発想を広げてもよいことを伝える。
5分	5 本時の活動を振り返り、次時の活動を確認する。	・進捗状況を班員で確認し合い、次時の活動につなげられるようにする。

「十分満足できる」と判断される状況	より文字の意味が伝わりやすく造形的にも美しいデザインがどのようなものかを考え、追求し、意欲的にアイデアスケッチに描き残すことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	絵文字の制作方法についてよく確認させ、文字から連想する言葉やイメージを絵に置き換える制作過程を例示することで、文字の意味が伝わりやすく造形的にも美しいデザインを考えられるようにする。